

## ① 地域農業を支える活力ある組織経営体の育成

地域農業の経営形態が多様化する中で、集落営農組織については、地域の合意に基づく水田農業の担い手として効率的な営農を促進するとともに、地域の特性を活かした園芸作物の導入や農産加工の取組などの複合化や多角化を進め、経営の安定と発展を図ります。

また、経営管理の効率化や対外的信用力の向上、安定的な人材の確保による経営の継続性の観点から、法人化による組織経営体への発展を促進します。

担い手が不足する中山間地域等では、兼業農家や高齢農家など地域の多様な農業者の役割分担により相互に支え合う集落営農組織の育成など、地域全体としての営農の継続や農地の維持・活用を図る体制づくりを促進します。

### 【達成指標】

		設定の考え方	
集落営農組織数	212 組織 <sup>(注)</sup>	250 組織	地域営農を担う組織育成の観点から、営農活動を行う組織を 40 程度育成することをめざす

注) 農水省による集落営農実態調査の平成 22 年度 314 組織から、県独自の調査により集落等を単位として営農活動を行う組織を抽出

## 事例 地域農業を支える活力ある組織経営体

### ❖ 株式会社 田切農産（飯島町）

経営規模 91ha

263 戸の農家が参加する、法人化された集落営農組織で、水稻、大豆、そば、ネギ等を生産しています。経営の継続性と自然環境を守る栽培が経営理念で、契約販売と自ら開設した農産物直売所での販売に取り組むとともに、地区住民の就業機会の確保にも貢献しています。



【農産物直売所】



### 【目指す5年後の姿】

- ◆ 人・農地プランに位置付けられた集落営農組織が、地域農業の担い手として、効率的な営農を展開しています。
- ◆ 集落営農組織の法人化が進み、組織経営体が育成されています。
- ◆ 中山間地域等では、集落営農組織や農作業の補完組織等により地域の営農が継続され、農地を有効活用した農業生産が行われています。

【展開する施策】

● 地域農業を支える集落営農組織等の育成

- 担い手が不足している地域では、人・農地プランの作成を通じて、集落営農組織や農作業の補完組織等の育成を進めます。
- セミナー等の開催や専門家による個別相談活動などにより、集落営農のリーダーの育成と集落営農の組織化を促進します。

● 集落営農組織の経営改善と法人化の促進

- 集落営農組織の経営改善を図るため、研修会・セミナーの開催や専門家による個別指導等を実施します。
- 市町村営農支援センターや農地利用集積円滑化団体が行う農地の利用調整活動を支援し、集落営農組織の効率的な農地利用を促進するとともに、補助事業等を活用し、経営規模の拡大、複合化・多角化を支援します。
- 法人化計画を持つ集落営農組織を対象に、関係機関・団体と連携した研修会や個別指導等により、経営実態と発展方向を踏まえた法人化を推進します。

● 関係機関・団体が連携した支援体制の充実

- 研修会や現地巡回等により、市町村営農支援センター等が行う担い手の確保や農地の利用集積等の調整・支援活動の充実を支援します。
- 人・農地プランの作成を支援し、個別経営体や組織経営体、兼業農家等の農地利用についての合意形成を促進して、効率的な農地の利用を推進します。
- JA等が主導・出資する農業生産法人や第三セクター等が実施する農作業受託や農地の保全管理、人材育成などの取組を市町村等と連携して促進します。

【活力ある組織経営体の育成】

